



平成17年3月期 決算説明資料

平成17年7月29日(金)

株式会社ジェーシー・コムサ(2876)

<http://www.jc-comsa.co.jp>

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

目 次

- ✓ P3 当社の事業内容
- ✓ P4 主要製品及び店舗について
- ✓ P5 主要製品及び店舗について
- ✓ P6 平成17年3月期 決算のポイント
- ✓ P7 ピザ関連事業 製品別売上高推移
- ✓ P8 外食事業 主要業態別売上高
- ✓ P9 損益計算書の概要(単体)
- ✓ P10 営業利益の増減要因(単体)
- ✓ P11 損益計算書(連結)の概要
- ✓ P12 部門別損益(連結)
- ✓ P13 貸借対照表の概要(連結)
- ✓ P14 キャッシュフロー計算書の概要
- ✓ P15 平成18年3月期の見通し
- ✓ P16 平成18年3月期 設備投資及び減価償却費の見通し
- ✓ P17 今後の見通しと戦略
- ✓ P19 事業別売上見通し
- ✓ P20 (参考)市況推移
- ✓ P21 (参考)ナチュラルチーズの輸入価格(CIF)
- ✓ P22 (参考)平成17年3月期主要外食業態別月次販売状況
- ✓ P23 (参考)株主メモ
- ✓ P24 (参考)質問と回答

当社の事業内容

“Good for the community”

日本人の食生活を豊かに創造する「食と生活の発想企業」

ピザ関連事業

ピザ、ナン、フォカッチャ、トルティーヤ、チーズ等の世界の食品を製造販売する日本のピザのパイオニア。
業務用は主力商品のピザをはじめ、ナン、カレー、ピタ、トルティーヤを扱う。市販用は大手スーパーを通じて「デルソーレ」ブランドで販売。

関連当事者

ジェーシー・コムサ、ジェー・シー・シー(持分法適用)他

外食事業

外食店経営

焼き鳥を中心とする店舗経営。「一番どり」「京鳥」他、上級コンセプト店で「燦鶏」等を展開。

関連当事者

ジェーシー・コムサ

宅配

弁当・寿司の宅配ビジネス

関連当事者 サム・アップ、ファンシーコーポレーション

商品販売

広告チラシ等の販促品の販売、食品の販売

関連当事者

ジェーシー・コムサ

主要商品及び店舗について

ピザ



主力のプレミアム・スタンダード・シリーズは、厳選された素材のみを使用し設計・開発された、当社が自信を持ってお勧めする商品シリーズです。

クラスト



ジェーシー事業本部のクラストは良質の小麦粉を使い、ピザ専門トッパメーカーならではの技術と設備で、用途に応じてお選びいただける豊富なバリエーションを揃えています。

トルティーヤ



小麦粉を使ったプレーンなフラットブレッド。タコスやブリトーはもちろんピザクラストやラップサンドなどアイデア次第で様々にお楽しみいただけます。

ピタ



ピタは中近東を源とする平焼きパンの一種です。シンプルな配合の生地を高温・短時間で焼くとプククと膨れ上がります。この時中が空洞状態になるのが特徴です。半分に切り、中に野菜や肉などを詰めて食べるユニークなパンです。

フォカッチャ



北イタリアのジェノバ地方で生まれたオリーブ油を練り込んだパンの一種で、現在のピザの原型と言われています。

ナン



インドのナンは手で叩きながら延ばした生地をひっぱって洋梨形にし、タンドール窯に貼りつけて焼きます。ジェーシー事業本部では、本場の製法を現代テクノロジーで量産化し、日本人の嗜好にあわせて改良しています。

主要商品及び店舗について

串焼処 一番どり



素材の持ち味を活かしきる天然塩や有機丸大豆醤油など、全ての食材をプロの目で吟味。串焼きをはじめとした定番メニューはもちろん、和の食材を巧みに使い、季節ごとに旬の味とお酒を楽しめるように提案しています。

京鳥(みやこどり)



ハーブで育てられた国内産の厳選されたひなどり、ひとつひとつ吟味された季節の野菜を丹精こめた天然塩と秘伝のタレで焼き上げました。全国の有名百貨店で取扱っており、串焼きの旨みをご家庭やパーティでご賞味いただけます。

郷どり 燦鶏



新感覚の和み空間は、黒を基調とした大人のための隠れ家風ダイニング。JAS認定地鶏の「阿波尾鶏」のおいしさを十分に引き出した串焼きと鶏料理の数々と旬の逸品料理を堪能できます。

牛傳



真に美味なる料理は健康をにう食材から。牛傳ではこの基本に徹底してこだわりました。茶室を思わせる和み空間で大切な人と過ごすくつろぎの大人の時間。指定生産者が育てた米沢牛を中心とした国内黒毛和牛種を中心に、全てがプロが吟味した逸品です。

平成17年3月期 決算のポイント

- ▶ 多摩工場のシータークラストラインの改善、千葉工場のホットプレスクラストラインの増設により生産能力が増加
- ▶ 株式会社コムサネット合併に伴う外食事業の拡大(前期は通期で業績に寄与)
- ▶ 合併による外食部門の拡大で、売上総利益率は改善するも、販管費負担が増加し営業利益率では前期並みに
- ▶ 不採算店舗の閉鎖損失の計上や税負担の増加により、当期利益は前期を下回る結果に

ピザ関連事業 ～ 製品別売上高推移 ～

(百万円)

	H17.3期	H16.3期	増減		備考
				伸び率	
ピザ	2,553	2,443	+110	4.5%	自社製品
ピザ関連等食品	5,016	4,079	+937	23.0%	自社製品
プレフライドフィッシュ	344	90	+254	282.2%	自社製品
ピザ関連等商品	6,209	5,241	+968	18.5%	仕入商品
合計	14,122	11,853	+2,269	19.1%	

- ピザ、チーズは、売上高の約2割を占める市販向けがスーパーを中心に増加傾向。
- ホットプレスラインの増設、シーターラインの改装等、クラスト製造ラインの増強を進める。
- 大手スーパー向けの供給契約を締結し、前期は大幅なチーズ売上の増加となった。
- 日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)向けにフィッシュメニューの販売が増加。
- ピザ関連等商品(仕入商品)もドミノピザ等向けの販売が増加。

外食事業 ～ 主要業態別売上高 ～

		一番どり	京鳥	燦鶏
売上高	(百万円)	2,497	620	366
店舗数	(店)	51	20	5
__直営	(店)	36	20	2
__FC	(店)	15	0	3
__出店	(店)	1	3	3
__閉店	(店)	2	0	0
1ヶ月平均来客数	(人)	112,000	64,000	21,000
客単価	(円/人)	1,499	804	1,820

注) 客単価は昼のランチを含む

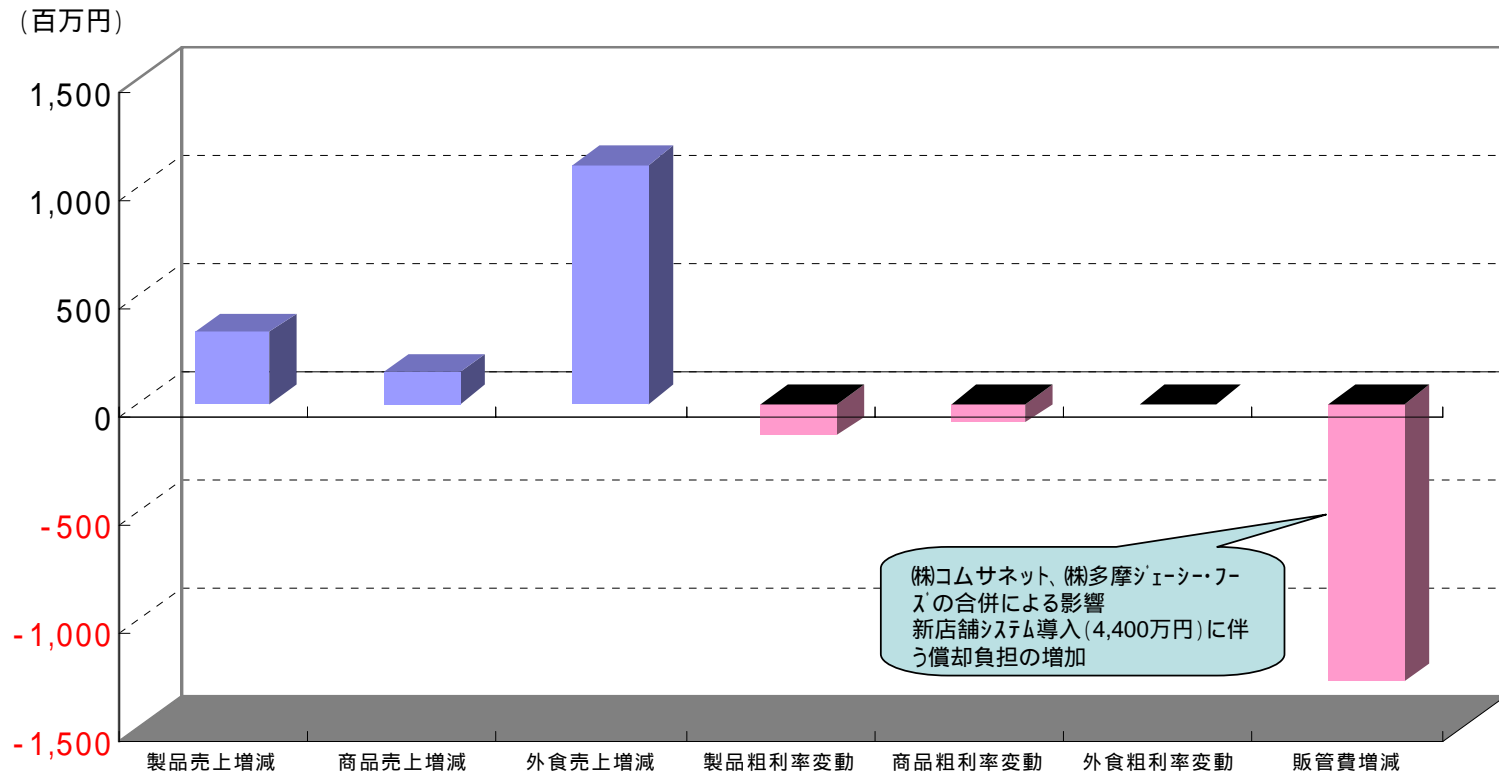
- 一番どり : 出店 日本橋本町(FC)
閉店 吉祥寺店、本町コア店
- 京鳥 : 出店 藤沢小田急、広島そごう(燦鶏)
- 燦鶏 : 出店 明治安田生命店、横浜ランドマーク店、ペディ汐留店

損益計算書(単体)の概要

(百万円)

	H17.3期	構成比	H16.3期	構成比	増減	前期比
売上高	18,269	100.0%	14,151	100.0%	+4,118	+29.1%
__製品	7,913	43.3%	6,611	46.7%	+1,302	+19.7%
__商品	7,085	38.8%	5,910	41.8%	+1,175	+19.9%
__外食	3,271	17.9%	1,629	11.5%	+1,642	+100.8%
売上総利益	4,829	26.4%	3,488	24.7%	+1,341	+38.4%
__製品	1,861	23.5%	1,674	25.3%	+187	+11.2%
__商品	771	10.9%	715	12.1%	+56	+7.8%
__外食	2,199	67.2%	1,100	67.5%	+1,099	+99.9%
販管費	4,488	24.5%	3,202	22.7%	+1,286	+40.2%
営業利益	340	1.9%	286	2.0%	+54	+18.9%
経常利益	208	1.1%	126	0.9%	+82	+65.1%
当期利益	57	0.3%	25	0.2%	+32	+128.0%

営業利益の増減要因(単体)



損益計算書(連結)の概要

(百万円)

	H17.3期	構成比	H16.3期	構成比	増減	前期比
売上高	19,969	100.0%	15,192	100.0%	+4,777	+31.4%
売上総利益	5,830	29.2%	4,062	26.8%	+1,768	+43.5%
販管費	5,507	27.6%	3,815	25.1%	+1,692	+44.4%
営業利益	322	1.6%	250	1.7%	+72	+28.8%
経常利益	185	0.9%	57	0.4%	+128	+224.0%
当期利益	17	0.1%	34	0.2%	17	48.2%

- 食品業界や外食業界では、BSEや鳥インフルエンザ問題により「食の安全・安心」に対する関心が高まる。高品質で低価格志向の強まりで市場競争が激化。「収益力の増強」「外食事業の拡大強化」を基本方針に。
- 平成15年10月1日付で株式会社コムサネット及び株式会社多摩ジェーシー・フーズを吸収合併。平成16.3期は、外食事業の大部分並びに物販事業の全額は合併期日から期末までの半期分を計上。また、平成16年7月にISO9001の認証を取得。
- 当期利益は、不採算店舗の閉鎖損失および税負担の増加により減益に。

部門別損益(連結)

(百万円)

	H17.3期			H16.3期		
	売上高	営業利益	(利益率)	売上高	営業利益	(利益率)
ピザ関連	14,122	761	5.4%	11,853	608	5.1%
外 食	5,143	69	1.3%	2,670	26	1.0%
物 販	703	140	19.9%	668	149	22.3%
消去又は全社	-	(648)	-	-	(533)	-
合 計	19,969	322	1.6%	15,192	250	1.7%

- ピザ関連
多摩工場のシーターラインの大幅改善、千葉工場のホットプレスラインの増設もあり生産能力が増加。高品質ピザ「プレミアムスタンダード」の提案型営業を強化。
- 外食
高齢化、景気後退、中食の増加等から既存店の売上高は減少傾向。合併の相乗効果を具現化した生パスタ中心の「ポポラマラー」の新店舗を出店。
- 物販
日本ケンタッキー・フライド・チキン(株)向けセールスプロモーション用ツールの販売が中心。

貸借対照表の概要(連結)

(百万円)

	H17.3期末	構成比	H16.3期末	構成比	増減	備 考
流動資産	6,977	56.2%	6,843	56.7%	+134	
__現金預金	2,759	22.2%	3,025	25.1%	266	有利子負債の削減と設備投資
__売上債権	2,929	23.6%	2,744	22.8%	+185	外食事業の比率向上により売上債権回転期間は良化
__棚卸資産	1,024	8.2%	758	6.3%	+266	売上増加に伴う在庫増
固定資産	5,416	43.6%	5,167	42.8%	+249	工場及び外食事業の設備増強
繰延資産	31	0.2%	58	0.5%	27	
資産合計	12,425	100.0%	12,059	100.0%	+366	
流動負債	5,781	46.5%	5,090	42.2%	+691	売上増加に伴う買入債務の増加
固定負債	4,062	32.7%	4,376	36.3%	314	社債償還に伴う有利子負債の減少
負債合計	9,843	79.2%	9,466	78.5%	+377	
__有利子負債	6,069	48.8%	6,192	51.3%	123	社債償還
少数株主持分	10	0.1%	7	0.1%	+3	
資本合計	2,571	20.7%	2,585	21.4%	14	自己株式取得

キャッシュフロー計算書の概要

(百万円)

	H17.3期	H16.3期	増減	備考
営業活動による キャッシュフロー	624	223	+403	利益及び償却費の増加、固定資産除却 損の減少、売上債権の減少等
投資活動による キャッシュフロー	748	0	748	設備投資、長期性預金への預入等
財務活動による キャッシュフロー	157	1,315	1,472	16.3期は社債発行(27億円) 17.3期は社債償還、借入金返済等
現金及び現金同等物 に係る換算差額	29	19	10	
現金及び現金同等物 の増減額	282	1,518	-	
現金及び現金同等物 の期末残高	2,224	2,506	282	

平成18年3月期の見通し

〈単体〉

(百万円)

	18.3期(計画)	構成比	H17.3期	構成比
売上高	18,500	100.0%	18,269	100.0%
営業利益	450	2.4%	340	1.9%
経常利益	300	1.6%	208	1.1%
当期利益	100	0.5%	57	0.3%

〈連結〉

(百万円)

	18.3期(計画)	構成比	H17.3期	構成比
売上高	21,000	100.0%	19,969	100.0%
営業利益	450	2.1%	322	1.6%
経常利益	300	1.4%	185	0.9%
当期利益	100	0.5%	17	0.1%

平成18年3月期 設備投資及び減価償却費の見通し

(単体)

(百万円)

	H18.3期 (計画)	増減	H17.3期 (実績)	増減
設備投資	916	+379	537	+410
減価償却費	350	+40	310	+88

(連結)

(百万円)

	H18.3期 (計画)	増減	H17.3期 (実績)	増減
設備投資	986	+431	555	+397
減価償却費	390	+39	351	+107

今後の見通しと戦略

【ピザ関連事業】

- ・ピザの市販市場は専業以外のメーカーの市場進出による競争激化があるものの、チルド製品の拡大が続く中、ピザ専業メーカーとして品質での差別化を推進。
- ・エスニックブレッド(ナン・フォカッチャ・ピタ)は設備増強によりトップシェアを目指す。
(10月中旬稼働予定)
- ・生産管理システムの導入、原材料調達に関する購買・物流システムの見直し
(チーズ市況や為替変動リスクの吸収)

【物販事業】

- ・日本ケンタッキー・フライド・チキン向けセールスプロモーション用ツールの販売に関する契約が平成16年9月で契約期限が到来。
(前期の同ビジネスに係わる売上高は539百万円、経常利益は92百万円)

今後の見通しと戦略

【外食事業】

- ・消費者の食の安心安全と新しい食の価値を求める傾向が続く中で新しい外食コンセプトの開発推進
 - 女性起業家活用の為の新しいコンセプト
夢のある町のたい焼きコンセプト
 - 北海道ハーベスター八雲レストラン(地域の食と農を結ぶ大型レストラン)のコンセプト拡大
ほのぼの牧場八雲レストランの展開(バーベキューコンセプト)
北海道道立公園『噴火湾パノラマパーク』のレストラン展開
- ・立地の変化とコンセプトの疲弊が目立つ店舗の早期閉店と新店開発の強化
- ・ピザビジネスとのシナジー効果のある外食事業の取組み
- ・既存主力コンセプトの燦鶏、京鳥、牛傳の磨き込み(新メニューの投入、サービスの強化、等)
- ・店舗展開の為にフランチャイズ展開及び社員ライセンサー制度の活用
- ・M & Aや業務提携の積極活用

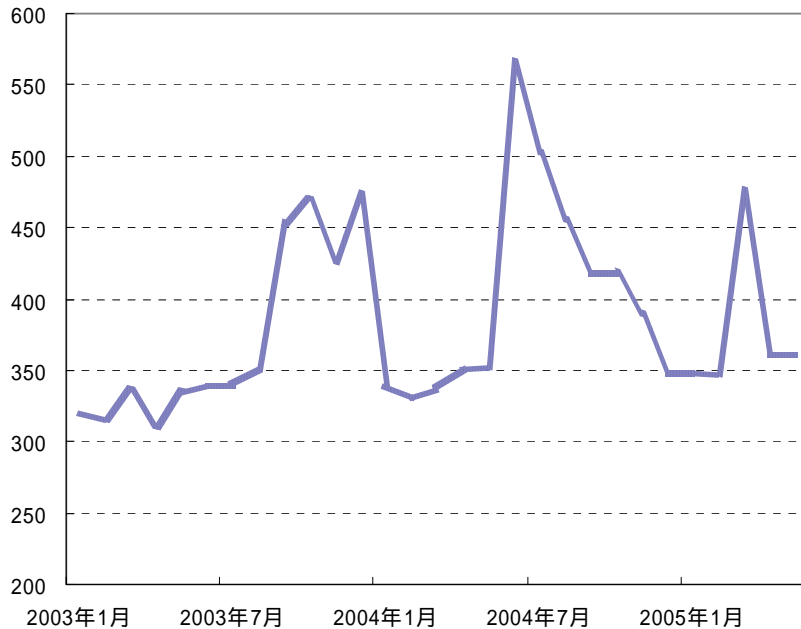
事業別売上見通し

(百万円)

	H18.3期(計画)			H17.3期		
	売上高	営業利益	(利益率)	売上高	営業利益	(利益率)
ピザ関連	15,000	1,000	6.7%	14,122	761	5.4%
外 食	5,860	110	1.9%	5,143	69	1.3%
物 販	140	35	25.0%	703	140	19.9%
消去又は全社	-	(695)	-	-	(648)	-
合 計	21,000	450	2.1%	19,969	322	1.6%

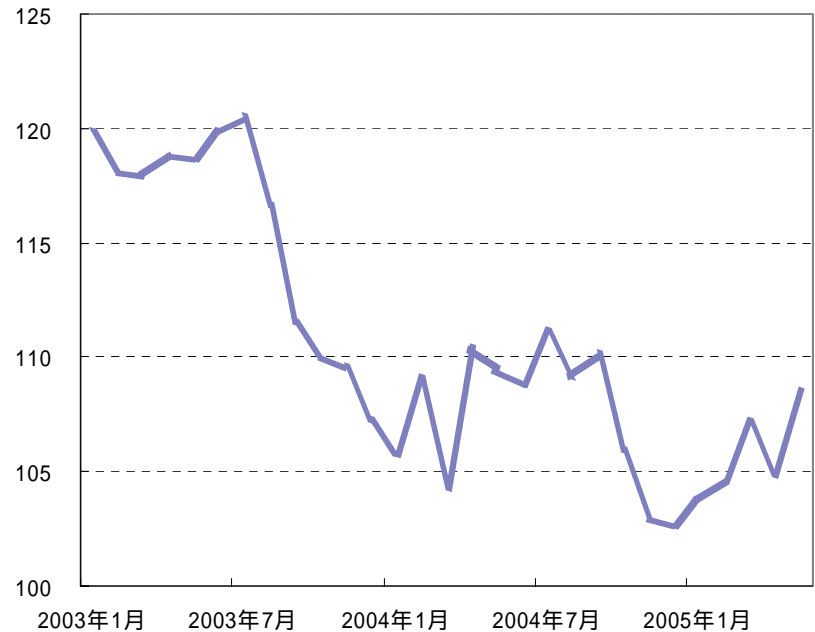
〈参考〉市況推移

【フレッシュチーズ輸入平均単価(円/kg)の推移】
(2003/1 ~ 2005/5月次推移)



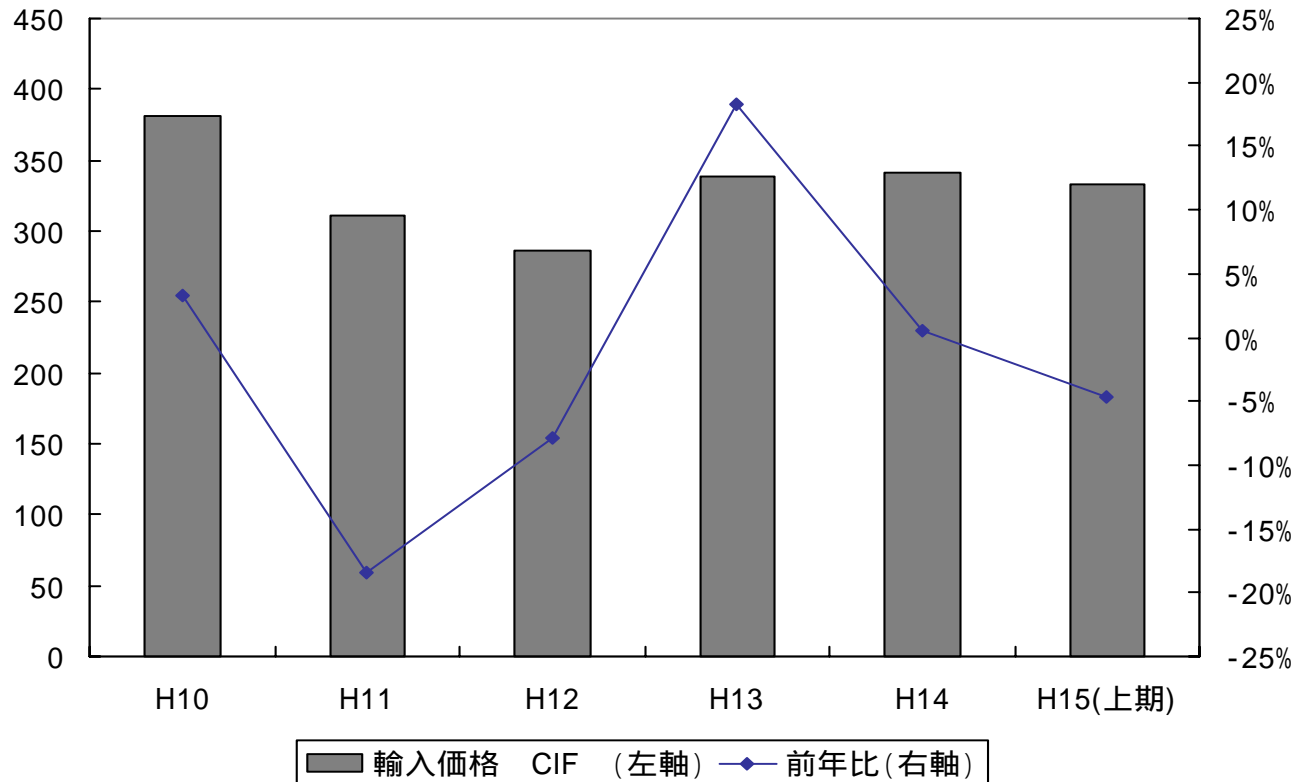
出所)財務省貿易統計のフレッシュチーズの輸入数量及び金額データから平均単価を算出して作成

【為替レート(円/ドル)終値推移】
(2003/1 ~ 2005/5月次終値)



出所)Quickデータより作成

(参考) ナチュラルチーズの輸入価格(CIF) : (円 / kg)



(参考) 平成17年3月期主要外食業態別月次販売状況

	一番どり			京鳥			燦鶏			牛傳		
	既存店 増収率 (%)	来客数 (人)	客単価 (円)	既存店 増収率 (%)	来客数 (人)	客単価 (円)	既存店 増収率 (%)	来客数 (人)	客単価 (円)	既存店 増収率 (%)	来客数 (人)	客単価 (円)
4月	90.3	-	-	85.5	53,556	773	84.8	-	-	99.2	-	-
5月	77.8	-	-	94.4	62,436	789	134.5	-	-	90.4	-	-
6月	93.7	-	-	94.9	61,470	786	117.1	-	-	74.8	-	-
7月	91.9	-	-	99.0	70,025	813	117.0	-	-	103.7	-	-
8月	91.5	-	-	105.9	69,117	802	116.5	-	-	80.7	-	-
9月	92.7	-	-	102.5	64,779	783	112.9	-	-	91.2	-	-
10月	87.7	-	-	98.0	64,260	778	115.5	-	-	105.9	-	-
11月	94.4	108,931	1,397	97.5	60,923	785	118.1	18,596	1,883	84.7	3,553	3,172
12月	97.8	119,502	1,724	103.1	75,932	865	102.3	21,843	2,029	96.7	4,788	3,722
1月	97.9	108,786	1,441	119.0	58,822	835	106.9	20,460	1,729	113.7	4,041	3,261
2月	100.2	101,904	1,398	140.0	55,779	808	105.4	21,729	1,702	104.9	3,917	3,114
3月	99.4	118,966	1,402	141.8	69,937	818	107.1	21,817	1,775	110.0	4,676	3,331

既存店増収率は、対前年同月比

〈参考〉株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主確定基準日	(1)定時株主総会 毎年3月31日 (2)利益配当金 毎年3月31日 (3)中間配当金 毎年9月30日
名義書換代理人	三菱信託銀行
事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
お問合せ先(郵便物送付先)	〒171-8508 東京都豊島区西池袋一丁目7番7号 三菱信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	三菱信託銀行株式会社 全国各支店
広告掲載新聞	日本経済新聞

(参考) 質問と回答

Q 会社が設立されたのはいつですか？

A 1964年11月に(株)ジエアンドシーカンパニーを設立し、米国より冷凍ピザを輸入し、販売を開始しました。

Q 社名の由来を教えてください。

A 加工食品メーカーのジエシーフーズネットと、中食・外食産業を展開するコムサネットが合併し、(株)ジエシーコムサがスタートしました。

Q 決算説明会は実施していますか？

A 現在は実施していませんが、決算説明会の実施を検討しています。

Q 食と生活の発想企業とはどういう意味ですか

A 日本の食文化を豊かにする食の伝導師であると同時に、生活面で消費者に夢を与える企業活動を行うという経営理念をあらわしています。

Q 経営方針・将来のビジョンを教えてください。

A ピザ・ナン等の世界の優れた料理を日本の食卓に紹介していくと共に、和食をベースに中食・外食ビジネスを展開していきます。

Q (株)コムサネット合併の理由は？

A 流通・生産工程のダイナミックな変革を行い、開発から製造、加工、物流、販売といった総合的な取り組みが実現できるためです。

Q 売買単位株式数は何株ですか？

A 1,000単位です。

Q 株主優待制度はありますか？

A 優待制度はありません。